

令和2年度決算審査特別委員会 Q&A

9月14日、15日の2日間、令和2年度の町の予算が適正に執行されているか、行政効果を確認し評価を行う決算審査特別委員会を開催しました。質疑の一部を要約して掲載しています。



総務費

マイホーム応援事業について

Q 町内定住を促進する目的で補助金を交付しているが、事業の効果は。

A 平成27年から令和元年までの5年間で538世帯が事業を利用。うち246世帯が町外からの転入であり、住民税や固定資産税、町内業者での建築による税収等を試算すると、一軒あたり4年半程度で補助金額を超える効果となる。

防災行政無線システム整備事業について

Q 配布率、家庭に配布された後の設置状況を把握しているか。

A おおむね8割の配布が終わっており、引き続き受け取っていない方にお知らせしている。家庭での設置状況は調査していないが、LINE(ライン)で防災情報を受け取れるため防災無線を設置していない状況もあると思われる。防災無線はアラートと自動で連携することができ、緊急時の対応、備えとして設置していただくことをアウンスしていきたい。

民生費

保育所へのエアコンの設置について

Q 保育室や遊戯室へのエアコンの設置は進められてきたが、職員室への設置については検討していないのか。

A 職員室は職員の部屋でありながら体調不良者の休憩場所でもある。保育士と児童の静養の場としての機能持つことから、エアコンの必要性を認識しており、設置に向けて検討している。



衛生費

墓地の貸付けについて

Q 墓の管理者について、昨年の決算審査特別委員会で「調査検討します」ということであったが進捗状況は。

A 管理者が把握できていない墓石の前に重要なお知らせと返信用封筒もビニールのシート袋に入れ、参拝にきた方から連絡をもらうよう調査を行った。お盆の調査では61.9%が戻ってきており、残り83件についてはお彼岸に同様の調査する。

衛生費

生活習慣改善事業に関わる健康ポイントラリーについて

Q 検診受診数が減った理由と健康ポイントカードの配布数の状況は。

A 受診数が減っているのは、昨年5月のスマイル検診が緊急事態宣言となり中止。代替日を作っても、いつもと同じように受けていただくのは難しい状況であった。

健康ポイントラリーのカードを去年は3087人に配布している。前年が1897人だったので、かなり数は増えている。

令和3年度

氏名		性別	男・女
電話番号		生年月日	S・H

農林業費

新規就農支援事業について

Q 5年間で53戸の離農に対し新規就農は6組であるが、事業の活用状況やPR等の取り組みは。

A ホームページや新規就農フェアなどイベントへの参加や北海道の農業大学校・専門学校を訪問してのPRを行っているが、令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大の関係で訪問を中止しているものもある。新規参入者のためのフロンティア研修では要件を「35歳までの夫婦」としていたが、45歳まで年齢を引き上げ「夫婦または18歳以上65歳未満の家族を有する者」と参入しやすいよう改正した。

商工費

消費者保護推進事業について

Q 新型コロナに関連した相談はなかったか。相談者の年齢構成は。

A 新型コロナとの関連はわからないが、通信販売で試供品やお試し商品をネットで購入し、よく見ないとわからない購入期間が書かれていたり、クーリングオフできないという相談が多い。相談者は、60代以上の方が多い状況である。

土木費

公園施設の更新・修繕等について

Q いなほ公園の遊具やろ過器の更新はされたが、自然池も安全面を考え整備すべきではないのか。運動公園の百年記念事業モニュメントも崩れている部分は危険ではないのか。

A 自然池（ビオトープ）は生物の生息場所を意味するもので自然のまま管理しており、運動公園のモニュメント（クロニクル・スパイラル）は自然に朽ちていくことが含まれてのモニュメントであるが、再度点検を行い、危険性のないよう適正な維持管理に努めたい。

教育費

子どもたちの心のケアについて

Q コロナ禍にあつて影響を受けた子どもたちの心のケアにどう対応してきたか。

A 一斉臨時休校中は子どもたちがどのように生活しているか確認を取り、学校再開後も気を配りながら、なにかあればスクールカウンセラー等の活用を考えていたが、本町において今回のコロナ禍でケアを必要とするケースは確認していない。

教育費

教職員の出退勤を管理するシステムの導入について

Q 令和2年から導入した教職員出退勤システムの運用と結果は。

A 令和2年5月から、順次システムを導入し実態把握に努めている。しかし、令和2年度はコロナ禍ということもあり正確な実績を捉えることができなかった。令和3年から毎月正確な数字を取り、教育委員会と学校が確認しながら、時間外の短縮等に努めてきている。

◆議会日誌（8月～10月）◆

- 8月 4日 総務文教常任委員会
- 13日 民生常任委員会
- 25日 議会運営委員会
- 9月 2日 議会運営委員会
- 第3回定例会（初日 行政報告・議案審議）
- 決算審査特別委員会、総務文教常任委員会
- 民生常任委員会、議会広報広聴委員会
- 8日 議会運営委員会
- 第3回定例会（一般質問）
- 9日 議会運営委員会
- 第3回定例会（一般質問・議案審議）
- 産業建設常任委員会、総務文教常任委員会
- 10日 民生常任委員会
- 14日 決算審査特別委員会
- 15日 決算審査特別委員会
- 22日 議会運営委員会
- 第3回定例会（最終日 議案審議）
- 行政区のあり方調査検討特別委員会
- 10月 7日 議会広報広聴委員会
- 13日 総務文教常任委員会
- 14日 議会広報広聴委員会
- 22日 民生常任委員会
- 26日 産業建設常任委員会
- 28日 議会運営委員会

会計名	令和2年度決算額	対前年度比	
一般会計	197億4102万4千円	46億3861万5千円	
特別会計	国民健康保険	27億9398万3千円	△1億6692万円
	後期高齢者医療	4億3335万円	3335万1千円
	介護保険	26億3627万円	7613万3千円
	簡易水道	4億2360万9千円	△211万2千円
	公共下水道	9億5427万2千円	△3246万円
	個別排水処理	1億9033万3千円	△605万円
	計	7176万7千円	△537万5千円
水道事業	8億6147万9千円	5725万4千円	
合計	281億608万7千円	45億9243万6千円	
※町民一人当たり	約106万5千円		